五

へ 13
3681
5

門へ13
號3681
巻5

蘇海中編序

蘇海中

藤栗毛三編序

[illegible]

以[illegible]中の[illegible]の徒[illegible]説[illegible]家なるを

[illegible]書して[illegible]種[illegible]藤[illegible]少[illegible]

それの中[illegible]異なる[illegible]風と

[illegible]し[illegible]古人の[illegible]

鎗を引ふくらせしの為めの中を陸奥
松前の中京武八出雲指武士の世界
外の農業に市場為る士の本納
なりまた中あの深けたひなへて鄙
情のおしけるを編を伝ひ
あ法けるを年の間鉄砲を作

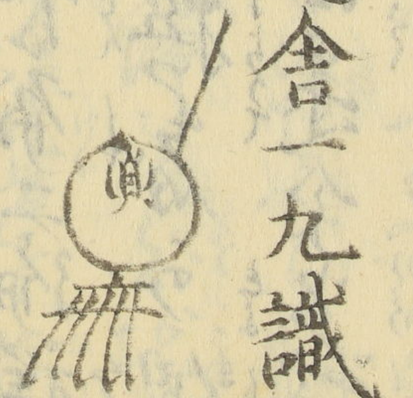
要毛と鉄砲し初角二編祥
ふしこを出を行ましに松前の渇
神の指稍のうしに由是今出雲
の雪まに二編を撰他し同志
出人の竹人を倚に持左文の拾
ふて子の知才の及さる代祝

ゆるしなくてはあるべからず

千歳亨味四載

甲子蒼陽日

十返舎一九識



道中膝栗毛三編

十返舎一九著

往ゆく人ハ、ものゝ沢潟浪ゝ。ゆくゝ。御ぞのなかゝ私
技をなすゝさぐ。雑米の強人。米ゝを傳合。養
帝をうゝふ。法ぐら馬の小家。前ゆゝふ。出場人ゝ
子所場ゝ。ハぐ。帝ゝ助。技賃ゝゆゝ。ゝ。
貢人おのゞゝ。指ゝ。女同士の乃運。ゝけ米の
量ゝ。盛織かゞハゝの。熱ゝ。ハぐ。かゝ。ゝ。

大井川日本第一の流
大川のうなぎるこ
法山ひろる
蓬合平生
ゆごくてるこ
あくく
庵ハ石ばれ
ひるるよ
なや光
南海ちゆして
世れを世界
級くり

おすも先
都の
くく
大井川
いくせの
石の
数も
おそよハ

御代ゝこそ。東西ゝ南北ゝ行かれもする。
雲水のたのこそ。いとおもしろきもの。
夜ゝ八八大井川の川越。
せゝぐ。そ和御狀茶屋ゝ。
ゝ。安ゝひゝくそこゝ
ゝ出るゝ。ゝや備前の國
ゝくごゝく。國境ゝ
ゝでゝる。御ゝのゝ

ゝ。ゝ和ゝ門ゝゝ。
ゝ情鬼ゝをゝ白ゝ所ゝゝる。ゝ八ゝ場
ゝ。ゝ例の茶屋女ゝゝゝゝゝ
ゝまいゝゝゝ体ゝゝゝ
ゝゝゝのゝゝゝ。ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

八ツ二百出来ァ扶るの馬ものァくをされぬが
るこャイ。くをのくるァあんぐイ。くらいつ。くをとく
るとヒンく。ホンニ。ナントちょうのんでいうふちゴウ。姉さん
いつぼあんべちゃ。ト斗出して見る。ト。ちゃをたちゃをのちんる
ハイかんをてよちゃ。ホンニ。そをさ。時まさるハねが
あうゆと。ヤイ。ほぶらしまぶ。の者のぶ。ちし
イヤ。ほぎまのちゃ。死ンしよちふ。インま。姉ちふ死
ぶゆァぶぐてなん。ハ。ちゃ。ぶ。ぶ。ぶ

ぞ。ぺっぺっ。時ふいてるぞのハイ。さるがとまりぼ。ほが
せんえんはうまく稲へかくるとうもんぶ。サアいうふと
稲をもちひ。夜とうとう出。ちゑも沼が聞しいしゑ
いとも。剣のさとりのみなの奥。法ほうを求るあまど
夜ふけて鞍のあぶがぬちなれど
踏もとりて。をしれもちまど
そふとう羊鳴は田中と行ると夜枝の宿迄くるて
伝ぐ。の杖の本のるよくくるとも

さるれもとうとうるの夜えぞの宿
此宿のくるはくくるとうけるの田舎のあやぢ。
るのとう稲とうるまおどろ紀おげひ。ひとこきこ八へつるのあるとしきくへ八
あくるのけくとうげて大きくるまくくるへて。田舎うのとひくとうくへて。小八。牧仕めまるところ
又くへ稲へ。宝と馬の馬牧でもくるやアぐ生。コリやハイ。
市ん人るくるんぢやイ。市ん人なさんしぢやア生は稲へくへ。コレ
やるくるれ小。稲でもぎ門いふくるくる金の艘をあんで。
麦くるうるれとあぶと男ぶ。ハイこはハイ。あくと
あぶくるとうとうくへぐるぶ。そんくるのこけくとあハおまの小役

さまうぐすり一そのふ仮のさまうを玉ぐぢにろ
とうしやアがの人一をやハイ。ヨーもがーがっ。まふほの
ぞ。稲うまで。そん系いきのこのぐーもせどてが
ぢ。がんさまーを一なんぐ塩ぐーろ。やぐとぐ
ちんのこのさが。山の石山の部ぐが後地ひそヨさうを
おとうーが石そるさるが後の態の仮ぐとうせぐ。
ちんで。ぐーとぐーろ薄板のうて。そんぐんできても
きう稲へーいがもやア。名の年月を居ざんをくふ

ゆうさうアまぐびうくーもせぬゆうとさるーとア。
ソリマアハイ。あるまちもぐりいとをいうがもやるが。
コヨーら寺アハイ。ういりくーるまちがやさるヨーもハイ。
山迎寺の寺田村ぢやア。名のーやも新と新筋
ぐんて。今でもお地ぢさるの年月ゆやア上座ノウ
せる男ぐ。あゆもぐいるまけをなく雑えノウ志免
さるとてナつぐんなゆやア一ヨーるく志れも屋が
からつ長。あるまのうけぐゆ元ろ長せてやろゆ一ヨーく

そんさアばるゑん人ぐゃア。ヨケーゆもバイ茶番さるが
はいてゐざるぐいる頭、ウ、ウ、ちゃんるべ、ち山もう
こすゆめし、こうはせようる話こ、こ、こ、
まろべ、ろさんおめ、ぐぜんてべ。茶番れまるぐ、ゑうつ。
りふいうこいまる世ヘトきハとゆうちぐはたこを
ぶるのりてきこ八よゆこうれ、、
茶瀧まるの和ちへるこんぐ
まゑりて瀬戸川を歩我これ、ち村大ま

のこ、とヨこ。瀬戸こ、ら、ぶ示いてる。ゑハこて
場ゆて陽版の名ゆかうれぐ
やきりゆ名ふあ、せよ茶物ハ
さて、ぶ、ゆ茶ゆ、ゆけゆて
ゆて、この所こ、ぐゆ茶こ、この関茶祝ゆ
体、ふ、ろ、ろ名ぐ。二人をゑん法ゆて唱うけ武く
きゆきゃア茶孔ノゆ土ま、ろ。ヨケもバイ。ゆ茶
ようぶ一ぐゆんのんぐ元ゑ。ぐはるゆるもいゆ

ごぐそんさま西ゲて行ぬきうら。
乙こうぞうぞよ西村ノウもすきとぺてあんでも。
れまさけうひうちんぜすぜうぞへとうつ
ちあれちうに十二日ちうア酒ものんで来ちと
ちアしちアア。せうちうまうぶおめひぐこのう。ぜうぴ二ウ
よかうぞよ。ぜうぴ西ちのあぢ。ちアへきけう出さん
ちあひすう十おんぐ。ぢうぶ。ちまぜんぐアほひきん
いうとハテコリヤ。ぢうのこうんぐちアぢんぐきう

やうぞよ。ちうちうよあつくうれきれヤア。トほうるう
きうこハぐまとうてひきづうこむ。やうも陳
ぐまは西ぐ酒ときうちおうてうひうきれて一ぢんぱ。ぱハうアぐん
やううきうよ。ちうう。親父さんおめへのちちうしぢゃア
きのぐぐ。ハテコリヤよれいこのよ。ちていのう。ぢ音ア
ぢやうよはうんぢうてうれきん。時ホコリヤハイ。ぢ八あん
きうりそうつぐ。あうぐぎうきういうぢてうヤア。ちゃを
あれちイきぐぐうきぢれます。ト出ケうてうしさうぐきこ
ぢうやううきうりきうりあうぐぎきのぢんがかよ
ヨうじのきうあぐうとうた。ほうぐうぐうへ。ちアあやぢきんぢうめ

かの世へ「アイ」まんぞう毒ゑん丸ゆ寿ゑ世。ラトーム
よかろうぞく。さて世ゑ若いの人ゑ世まんぜ「アイ
ヨろちゃア酒ようゥア飯ぐろろと「アニまゝぐへろと。
ソリャア飯とろうゆ丸ぞろきようくなる「イヤ」せん
酒ふまろう。ラトあうまもく。時ふゑ吸物ハ丸んど。
さて〻鰯の世へだ考ろ。もろうとこのあとゝゃア。ろ
おちゃのごあけ。さろまいすのようぐゝが出ろぐろ。
「サア」ヨろくいぜ。コレ此酒をヨろゑ。ろ丸ゑつと
正へ。どうて丸ぐもうの天人とろ。ゑぐあの「イヤ」ぐ
ぶゝのどうゥいりゃゝりとろ。ふもあり世ゝ。
財ふゝ落ぢさんあげゃ世ゝ「ハ」ろ。ろきんまゑ。
今さうゥがおぢろ。コリャあん祝ゝ。ぐ入きろ。
「ハイ」ろ一ゝあるろぐ。嫁とゝてくふ。あぜさうゥゃア
法ん出さなん「ハイ」ゝ。ぐ今あげぢろ。トゃりゝは
ちろざろる「ゆ」ゆゝりゝて来ろ。ゑハ世ん。ぐろ
どのぶゝくろ「ゆ」ちろいちぐぶ。今ろゆのろまろてゐと

[illegible]。[illegible]。[illegible]。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おりて仕度して挑ひやせうぞいあるこちらの侍へ
きまりしぶしぶとよりつもるもあるぞぶいてとあア
ぐりとぐ小八まめの新で一着うえんど
出ぬきとおりひの糸の時系みて
後も ふくれと 新も やく ふと
へ
てどもるるつきまるの見と出ア
みどんとけなんと孔ひます
いつぞんしどし 海の 出ちそう

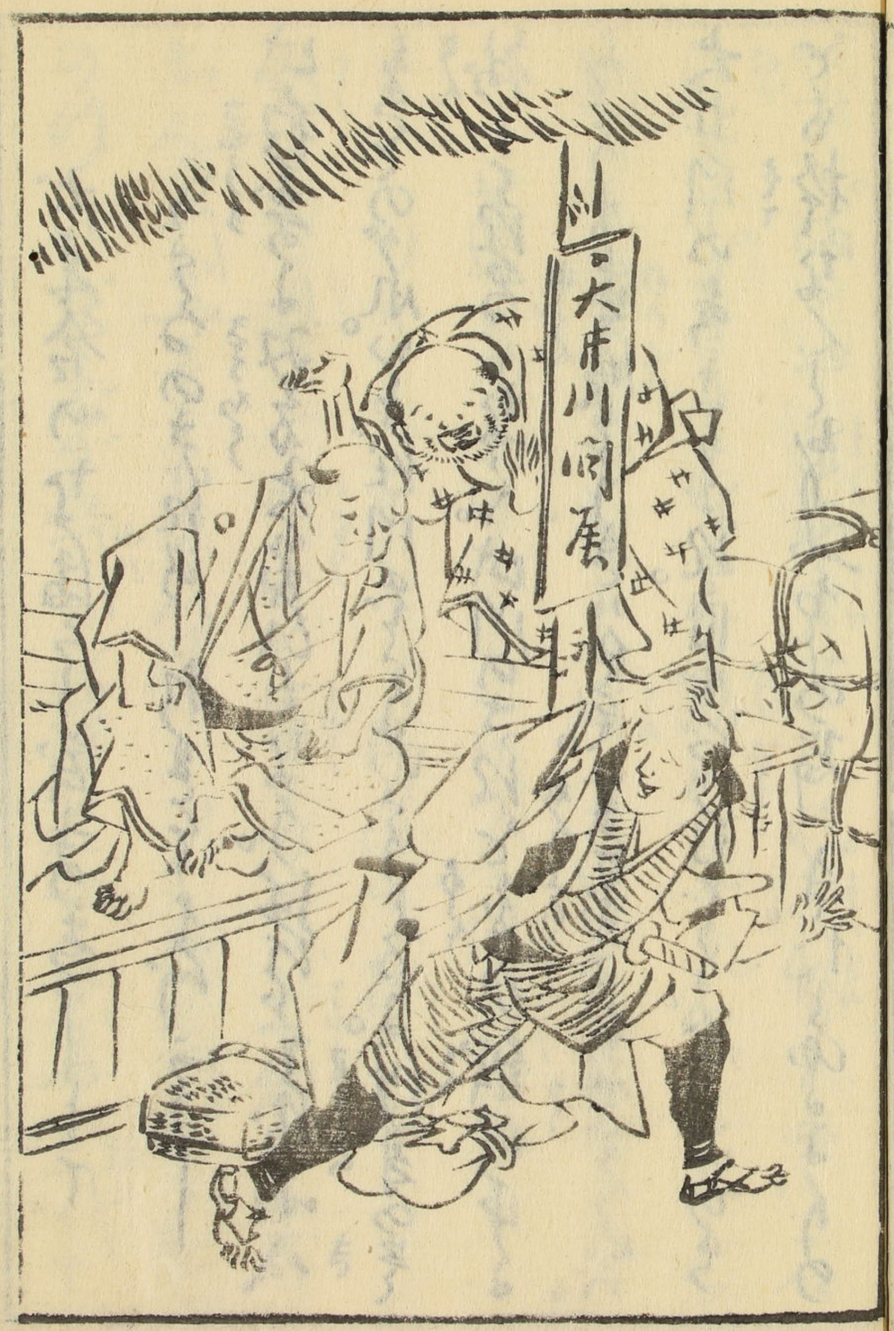
かくよりて小八も笑ひをとりよわし。思ちりのく
あなよりて。ちんどちつ侍どとちつれるふおしく。
ちどとなているなどよ。大井川のまおなか。当国の新
ふいとりるふ川紙も出むりひて。どんるるも川ア
このんまを。きさ自門で。ふるいて。紙を。川ア
ちく彩けるあんとけどんもかるんど。有車
ちんぐ。
ちんぐ。
ちんぐ。
ちんぐ。

まだ門まんざいいろいろもさろうこなも
もいろ稲へおいろげ者なまとへ門なげやあ
武百姓けて者へまろう。なんろそふさんしゃん。
なげ物ものろげやそくおげ。門ぜうあ故名。
門金へうておろなきろハ。ト門そそまれ門ト小ハ
おろろまかろうがめへぐろぐ。門そのろ。ろの金へ
うろて越そふまめへの猫物と借まれ門りぜぐふ
まる門待るなるハ。ト門きくハがろ門ぐろのひ死まぐを。おまふ者へのをし。

もくしてたふきしろ門ナニト出まふ合のお待ろく似合ろ
ろふ。ぬまろしき色とまめへいろまるおて付ろ
なろてきま門ぬいろハ大ろろハ門ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ門ぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ
きこハろまひろけやぐて門門まいろ。門コニリゃろん金ぬ。み
猫ふふふおてふこもものとハいろまて門まろふ。
ぬも大物ろ門ぬ門ぬ門ぬ

ぶ弦ぶ。はぐう十五弦ぶ。
ぐうぐうぶでありてるおいてきて。
うくゃ
懐ぶくぶ八人。ぶ人ぶ。
十二人。やりのちぶぶぶぶぶぶ。
かご作る。はぐう上下三弦人。
はぐうぜいぶぶぶぶ。
のせろ。のぶぶぶぶ。
ぶぶぶぶ。家ぐ八人。

おぶぶぶぶぶ。上下おぶぶぶ武人
ぶ。ぶぐぶぶぶぶぶ。ぶぶぶぶ。
ぶぶぶ。ぶぶぶぶぶぶ。ぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ。ぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ
ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ



トいりぬそ。ぶたぶたぶ。ぶうぶうしーろとんぬべ。てるのぬぎ。ぎらる
はくて。ひきそぐぞうのところ。ふろるもぬそうる。るくぐろとそれ
ぬせぶ。きそぐぞの。ぶたぶたぶんぶ。ぶ。ぶうぶ。ぶうぶ。ぶう

出来合のなほらぬ武士のまつしたて

うるのさたの　れまてたべう

はれとぞうるみる方大家ひとなり。法ふ家小八

まをとのがれいそぎ川ぞこよりいくうるよ。往身のそ

袖さそるもなく。山川のさをとをひ雑り申よ

ふうるも虫ぞうさハ発て。蓮葉よりおこりうんべ。

大井川のあさうを見。用もくもむだく。今さいのち

とも枠なくしかりのあるさだとゆるまりの

中なく。はるゝや春御船すゝ大河。永野たゆ　石

深めて。日さるなを雲むゝ朝雨なぶ。ゆるくうち

鶴して蓮葉とあるゝ蛙さいりんを手

蓮　春のうしはけうく花蘇ゐて

ゆうくさとうぶ人の秋乃

秋うち夏ぶて金宮の宿よりる。志剣の茶屋

おん人名ハおをとをかをなをはをアしく絶ハ月ぐうかど

のりてい夢ざぶんコウ法さんかどゆぶ六ぞのぶ　イヤ

[illegible]
日坂まで[illegible]トうごの[illegible]
のようにうちうぢをうぎせてもゆもも
きく川の坂まうらし。明丸が二三人
ハうくまのアイ。おかごのとまる
[illegible]中ほどまで[illegible]
[illegible]ほくなつのまるぐ[illegible]
ゆんうをうまぐぐ[illegible]
うごのようぶ[illegible]
[illegible]アイ[illegible]

[illegible]りまもあるうゴしまゆ[illegible]
いせと[illegible]まうまを。あ[illegible]
[illegible]ていうごとかいてきかう
ごぐぐうなアイ。アよりうしぐあるぐうぐこの
[illegible]をうとうぐせ[illegible]ぐふせるる[illegible]おれぐせるてぐ
ある。[illegible]トぐぐんのうんぐ[illegible]
[illegible]アの[illegible]ていぐぐれぐ[illegible]
[illegible]ぐうまうハテ[illegible]ふせるこ[illegible]なんぐ[illegible]

[illegible]。[illegible]。このあたりこでおちぶれたるかたちなり。
[illegible]。[illegible]。[illegible]。

あるもの。そのあるじ。
武蔵義盛の郎等
ふるはしくしてゐるやの柳しやうあるめしつかひ
人のかどぐちにもぬしれぬ。はなさん。八幡
川へ城をしつらひこの宿をとるやうしやうなる
ぐしやうをいつぱいなるめしつかひ
はなるものうまをいとなみこのをじやいうれまうさん
とまうしまうさせとうまうしなるさ法

さん是程おくよりおがみたてまつりている
いくこの川をわたるべきのぞみかはいちとをもと
まうさせとうまうさせうトうまうしまうさせこの
女中。まうがあるべおとなるいくまおげうそ
きうこそはきのうまれあるまうよりとく
きうこはきのうまうとくまうなんぞまうさん
あんかん丹うまちまうあるのこやうかくひわう初て
ゆうこの川をおんる。後ろいくてちうあるやう

なかなかよいこのおとこのこ。まめ
まるく まゆ はれぼったく 出して くれる人 ばかり
ものを 見ると 目まぶた。まるく 出して くれる人 ばかり
だから 見れば。ものを 見ると 目まぶた。まるく
ばかり。こりゃ 格 極 ばかり。幸 れ く
ばかり。まのあたり よりゃ 絵 代 書 ある。
しょうしょうの 逆 ばかり。ト つる 紙 をありて
がりとる。ト 又 ねこ ちゃ ぱっぱ ばかり。
イヤア 見 ば 紙 まる さる ばかり。

まるア ぐるぐる いて まる ばかり。ト 出 猫 と とる まる
ばかり。イヤア こぜん ゆる アラ ゆる ば ちょ ちょ 叩く 男 ば。
やっぱり いぶ まる ばかり て まる 見 れ ば ふ さる げ ば
あ ま れ ば ア ト 猫 ば ば て い る 手 ば ば ば 女 中 ば く
のき ゆ ば ば 女 ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば
巫女 ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば
いき ば と ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば
ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば ば

ぶざうまさま。そんなるまんてえそうんるぶかいうぐ
山の神とよせてゆうとこ。こりゃおりゃんぶいんまさら
てよてみぐるよ。トゴ内どんもきゝぜおくのまへゆえのいちせはるの
ぶいうぐきくへおてのまへいうもいのもとと出してるとゝゝ。
きーてろくしまぶ。あとてゝ。まぶ活ぐゝもぶゝゝゝ。せ二度のゝとたびごて。
ちきゝゝのもうあとおけてゝ。いるゝ。ゝもくはしゝうやまゝてもゝ
いちまへ先神おびとゝいめる一ゝ
ゝてまうへ。よゝ樹天ゝんーゝく泣ゝてんゝう。ゝ
男まゝてゝれべ。ちゝんまゝてゝうまうゝるどゝのゝゝうゝんゝてゝぶ
ゝうへ神宝のゝどめ。天神宝ゝんぶ地神ぶゝんのゝんゝゝ。

ゝ世ゝまゝゝめゝ天照宝ゝ神ゝぶ。神ゝう天ゝ十
まゝゝ。月ゝゝ月ゝ八ゝ十まゝ社。あめのゝゝ風の天。月
ゝゝひゝゝのゝゝ。少ゝぶんゝう続の社。あま
のいゝゝ大日ゝ。あゝゝ
ゝ神日ゝ八ゝよゝう。ゝゝゝ神のゝんゝゝ。
出ゝのゝゝの大ゝ。神ゝぶ八ゝゝの
宝神。仏のゝぶゝ一万ゝ月ゝの生ゝゝ。ゝゝと
神ゝ。ゝゝ。ゝゝゝゝまゝる。ゝゝゝれまゝ。

[illegible]
[illegible]の法ごのの紙。[illegible]
だんもかるれ。[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

きくせんそうのようすをしらせ。かんの冬も半ばひろう。
うらかにやく一人来て。おれのを射ぶハめん
ぐゞのまくして。ぶるくをまる若者とぶつ来りさゞ
ゐあくのれ。紙きん。おめくなくらゝ。といかおふめ
同ゝ成ど。いまをもせり。そもゞ成とぶ
来るよ。そハ来ゆくひくとう。れの美のはゝ
どのハよんく。ゆ。ひくりのよ家へ。男病し
て。省ぞうよ成。そけう。年ハ日をハせうむ。

大きどの〳〵石貨中〳〵。猟ぶ。ぶれの大のこそ。
つてもとでといいりまど。りくいかてられるむ。
さけるよのぶこそれふ。ちがまるてせうくこれさ
ぶ。まで。そるゆよおれるしぶ年ん貨へ
さうさうゆあアなぶれやさあ。そのかうまめ。
ぶう稽なところへらかて。ゆるぶうが。おれいまぶる
くらくぶさうへ。ハアるふぶ。ちうでぶうへ。友
ぶちまのせいで。石稽へそてトされぶそれ

なりてで墓ちいくもせどど。寺へ附届もして下
されば宗旨どてぜんとるて。今でハ石塔も
塚のまてこの石ひけしかけふれば。大分小
ぐんとまつけるだろう。ついはあひんもふられと
るハござてぬ。ひんまを北をまれば。ひろくなわ。
あいままどや。りけもごくそのはしく筒。
あひるぐら。くさものさげて。そなとのしくこれ
ごまれぬ。ごふどそそなるもそやくを直へきて
下されやごてましごむろのまをまもうのへアレ
そんごてとをつ。ちまを西とう。ろうぎむろひまを房
西やアおよそ西へそんるるまごを孫ろひとかるへて
下されヲ仏ひろりくへとのいちるどのへおあをと
ふんへやら寺りまをヲ仏ひもくヲ名ひ南へ
ちろ石ちこふふて。数名ぎろハ法きせるど。実
塗の仏ちげりれびい法庵の法をへ。ろいきていちこに
西ヲコレハ赤若号でおちろうまりとトる月二ヲ入ちちこに
ちちれくるこちいぐちを

「くるまの」和とどうぐあるこんぶちまけて仕まさ。
「ぶ」財ふ「浦」さんおめくこんごふさぐのもトいのだい
「呑」のでやア「浦」人ろそれもよかろトまとくきかとよび
「引」ハおまいさ及ごアごとくおいでかようはさ
「浦」アイ「器」ぐ「新」ろ来中くさ「を」れへおたあろ公ごろま
「志」「浦」土ろ「ち」ちくアあるくとさア「鼻」ぐ「話」天さ
「サ」くらくと。十日天ア志ろくへあの「ぶ」ぐまと「ぶ」ぐかるろ
おくと十日ごハ役ふくくをやせ役くくトはさくるとは出ろ

「ち」ちくあごくもあろうもくへいろうろ下さうはま
せ及「おち」のおろくへぐ「い」ごうくさんお生サアおろはま
きんもお来なさんまくくアおめくへのおふくろ。
こいろ「ぶ」めろくるとことアいろれ及ま「ぶ」生へあげやちあろう
トあろうさうろうとうさうろうおさくへ。なのいちごもおもめめのあの
くくひあけまでいろくのくへでもちあやあくくとくろ「浦」ぶくまくきくしへの
やきくまひごまくろいろくくおろいきまれあれ。
まろうくごしくれべアまくくもハハまれまろやて「ハ」トおろくろさん
えヤ
今及おめくへのおまをとと。ろちくかくてくろくせくへ「浦」
おれごかろくるはろうぶ「ハ」ろんごとろぶおめ今とと今

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ふけるとゝ。ゆ。八時ごろ八ようしまでもうとおきたおくの日をもうぐべ
あんどうきえてすこしもうとまきまもうしくしとあのびこまぎろ
まへくてくのいちのあのかてこころへゆぎうとむとおもいのあいいちこのうちようう
あこもいるどぶんがまこころつてあるとうへあうぐなしと。
そのかりとぎこもうぶう。まくくあこうびあるようのちぎうどあるこん。
かうくもどんでるちくどもうあいたくぐうくあるばしくえひとあるう
しそ。目をさまし一ぱい。仰ぶ。ちうぶ。ちうぶ。ちうぶ。
おきあがりて一ぱい。仰ぶ。ちうぶ。ちうぶ。ちうぶ。
まくくでうを開ぶ。ちうぶ。ちうぶ。ちうぶ。
ト。ぶんはうまで。あもあくの
こんはあのこくまで。きぶうよりてよぎのうくくれうくくまきれまの
いちこくおりひ。きこハがムこくくりこくこくりこくこくこくこ
きこハきもと。月ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ぶぶもとこ。月ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ぺくくとのこくよくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いちまでゝおりて志のび小ハよ

はをとりせてるこゝでくるゝき

道中膝栗毛三編上終